【国語·特別支援学級(知的)小4·「慣用句」】

育成を目指す資質・能力

<本時のねらい>

いろいろな慣用句があることを知り、動画の中で紹介された慣用句や教科書、慣用句辞典にある慣用句の中から興味を持った慣用句を選び、意味や使われ方を進んでまとめようとしている。

ICT活用のポイント

- ・児童の得意な面に着目した、タブレット端末を使って繰り返し学習できる教材を活用することで、自信や主体的に取り組む意欲を高める。
- ・タブレット端末で動画説明を視聴することで、興味・関心を高めるとともに、今後の学習への見通しをもって取り組めるようにする。

【つかむ】

・慣用句について知り、興味のある慣用句について調べる。

【追究する】

- ・慣用句辞典などで調べた例文を参考にして、自分なりに例文を考える。
- ・考えた例文を発表する。

【まとめる】

・さまざまな慣用句について分類・整理し、発表する。

事例の概要

○児童の特性に合わせてICTを効果的に活用することで、学習への意欲を高め、今後の学習に見通しをもって主体的に取り組めるようにする。

【事例におけるICT活用の場面①】

○タブレット端末で作成した、新出漢字のフラッシュカードに取り組む。

【事例におけるICT活用の場面②】

- ○情報ネットワークの電子メールを使って、添付されたURLを確認する。
- ○情報ネットワークを使い、慣用句についての説明動画を視聴する。

【国語·特別支援学級(知的)小4·「慣用句」】

【事例におけるICT活用の場面①】

<新出漢字の学習>
表計算ソフトで新出漢字のフラッシュカード





- ○自分で答えを確認することができ、繰り返し学習することができたことで、新出 漢字の学習の定着につながった。
- ○児童の得意な新出漢字の読みをタブレットを使って繰り返し行うことで、授業に主体的に取り組む意欲を高めることができた。

【事例におけるICT活用の場面②】

動画視聴用のURLをメールでやりとり



○ウェブでの検索に不慣れである児童に対して、検索する時間を短縮するため、あらかじめ教員から送付された電子メールを確認し、そこに添付されている説明動画のURLに接続するこができた。

動画を見て慣用句とは何かを知る



- ○慣用句についての説明動画を視聴し、慣用句とは何かについて知る ことができた。
- ○アニメーション動画にしたことで、集中力が途切れることなく、関心をもって、説明を見聞きすることができた。

【活用したソフトや機能】
・表計算ソフト・情報通信ネットワーク